

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成25年 3月27日	佐藤 英明	農学 研究科 教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢 正隆	電気通信研究所 所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれをを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢 正隆	電気通信研究所 教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学 研究科 教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学 研究科 教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所 所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学 研究科 教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学 研究科 教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学 研究科 教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を取った女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所 教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成24年度

氏名	職名等	受賞理由
芳賀 満	高等教育開発推進センター 教	主に国際学士コースの授業において、卓越した語学力を駆使し、異なる文化・言語環境を視野に入れながら、相互理解の促進、複眼的志向を獲得するための優れた授業実践を行い、学生から高い評価を得た。
鈴木 敏彦	歯学 研究科 助教	継続して解剖学の講義や実習に携わり、主体的課題解決能力を向上させる新たな到達度システムを構築するなどの優れた授業実践を行った。また、震災時の身元確認業務の体験を講義を通じて学生へ伝え、災害医学教育の推進に大きく貢献するとともに、学生からも高い評価を得た。
工学 研究科	ソーク スクール	グローバルCOEの教育プログラムによる、ソーク スクール(学際・国際・産学交流道場)の制度設計・運営を通じて、挑戦的で学際的な研究課題を解決できる独創性豊かな人材を育成する取り組みが、本学の博士課程教育の発展に大きく貢献した。
情報 科学 研究科	情報リテラシー教育プログラム	学校現場への支援活動や、一般市民向けの公開講座を通じて情報通信技術(ICT)活用能力を身につけさせるための教育を積極的に行い社会貢献を果たすと同時に、社会での実践的取り組みを通じて、情報教育の専門職を目指す大学院生の人材育成にも貢献した。
「科学者の卵養成講座」	実施運営委員会	高校生を対象とした次世代型科学者養成プログラムの企画・運営・実践を通じて、多くの高校生へ講義、実習、発表、各段階での選抜を組み合わせたプログラムを展開し、双方向型高大連携のモデルとして高い評価を受けた。また、講座修了生の多くが本学へ入学しており、優秀な高校生が本学を志す動機付けとしても大きく貢献した。

平成23年度

氏名	職名等
勝山 稔	国際文化 研究科 准教授
理学 研究科	「先端的数学・物理学の英才教育プロジェクト」運営委員会
田中 仁	工学 研究科 教授
米本年 邦	工学 研究科 教授
米倉 等	農学 研究科 教授
PEM	資格教育プログラム実施委員会

平成22年度

氏名	職名等
清水 悟	理学 研究科 准教授
佐藤 英明	農学 研究科 教授
中尾 光之	情報 科学 研究科 教授
高木 敏行	流体 科学 研究所 教授
永谷 五郎	工学 研究科 教授
山口 昌弘	理学 研究科 教授
小谷 元子	理学 研究科 教授

総長震災貢献賞

東日本大震災の際に、身命の危険を冒して本学への多大な貢献に尽くされた方を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成24年 3月27日	平塚 豊一	農学 研究科 附属 複合生態フィールド教育 研究 センター 機関員	震災の折、調査実習船「翠皓」と「海生」を操船し、複数の津波を巧みな操船技術によって回避し、安全な沖合まで避難させ、本学の所有する調査実習船2隻を命がけで守った。
平成24年 3月27日	阿部 勝夫	農学 研究科 附属 複合生態フィールド教育 研究 センター 元臨時員	

総長賞受賞者 平成24年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

中山 大地	文学 学部	柴田 幸奈	医学 学部
富田 芽	文学 学部	丸山 顕太郎	歯学 学部
菅原 愛理	教育学 学部	近藤 朋恵	薬学 学部
金澤 久太	法学 学部	福原 洸	工学 学部
井出澤 李	法学 学部	皆本 岳	工学 学部
加藤 憲	経済 学部	藤田 晋士	工学 学部
佐藤 大輔	経済 学部	井下 翔平	工学 学部
山本 久美子	経済 学部	一ノ瀬 智浩	工学 学部
廣部 大地	理学 学部	清水 克哉	工学 学部
小野里 宏樹	理学 学部	平島 哲矢	工学 学部
小野寺 孝興	理学 学部	八嶋 宏幸	工学 学部
小山 友菜	医学 学部	鎌田 えりか	農学 学部
小張 祐介	医学 学部		

修士

福 達 拓也	工学 研究科
遠 藤 寛明	工学 研究科
安 永 隼平	工学 研究科
武 石 直樹	医工学 研究科

専門職

米 満祥人	法学 研究科
-------	--------

博士

GUILHERME KENJY GHIHAYA DA SILVA	文学 研究科
板 倉 憲政	教育学 研究科
玉 岡 敦	経済学 研究科
高山 あかり	理学 研究科
西山 尚典	理学 研究科
顔 美	理学 研究科

田 中 由佳里	医学系 研究科
弘 津 陽介	医学系 研究科
木 村 桂介	歯学 研究科
佐 藤 倫広	薬学 研究科
猪 股 直生	工学 研究科
五十嵐 誠	工学 研究科
山 本 哲矢	工学 研究科
山 崎 義昭	工学 研究科
永 沢 友裕	農学 研究科
横 山 由香	国際文化 研究科
刘 家佳	情報 科学 研究科
大 久 保 卓	生命科学 研究科
果 崇 申	環境 科学 研究科
橋 本 陽介	教育 情報 学 教育部

総長優秀学生賞受賞者

日本学術振興会育志賞を受賞した学生を表彰するものです。

平成24年度(第3回受賞者)

氏名	所属	研究課題
高山 あかり	理学 研究科	超高分解能スピンドル分光電子分光による2次元ラシユバ電子系研究

平成22年度(第1回受賞者)

氏名	所属	研究課題
内 田 健一	理学 研究科	スピン流-熱流変換現象の基礎物理及び応用技術の開拓

学内表彰

学友会長賞受賞者 平成24年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏名	部・団体名	氏名	部・団体名	氏名	部・団体名
石川 桃子	吹奏楽部	遠藤 柊子	卓球部	佐久間 啓太	硬式野球部
梁瀬 真以	水泳部	寺島 昇吾	レーシングカート部		

沢柳賞受賞者

「沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

平成24年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
ア口ナ	経済学研究科 / 「留学生・研究者の出身・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活動部門	共生社会におけるネットワーク形成型の外国人留学生 出産・育児支援

平成23年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
朝倉 京子	医学系研究科教授	研究部門	日本の農村地域における男性看護師の生存方略 (Survival strategies of male nurses in rural areas of Japan)

平成22年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門	Affirmative Actionの正当化理由~過去向きのAffirmative Actionと将来志向のAffirmative Action~
阿部 比佐久 利美和 村上 祐子	理学研究科再雇用職員 理学研究科助教 理学研究科准教授	プロジェクト部門 (特別賞)	地域の子育て情報交換の場と父親の育児参加を促す企画としての科学普及活動

平成21年度

氏名	職名等	受賞部門
下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門
青 葉 理	学 振 興 会	活動部門
女 性 と 労 働 研 究 会		プロジェクト部門
山 崎 都	病 院 医 員	活動部門(特別賞)

平成20年度

氏名	職名等	受賞部門
東北大学川内 けやき	保育園保護者会	活動部門
トルムソフ オドントヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)

平成19年度

氏名	職名等	受賞部門
齊 藤 綾 美	教育学研究科特別研究員	研究部門
阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会 同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
尾 崎 博 美 八 木 美 保 子 水 原 克 敏 田 久 美 子	教育学研究科博士課程学生 教育学研究科博士課程学生 教育学研究科教授 教育学研究科教授	プロジェクト部門
ヤマモト ルシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)

平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉 田 浩	経済学研究科助教	研究部門
遠 山 智 子 鈴 木 美 智 子 玉 江 京 子	理学研究科教育研究支援者 理学研究科教育研究支援者 理学研究科助手	活動部門
海老原 孝 枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	活動部門
橋 本 鑑 市	教育学研究科助教	プロジェクト部門

東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

授賞年度	氏名	所属等
平成17年	孫 毅	北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所属等
平成16年	顧 秉 林	清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部 局	授賞年度	氏名	部 局	授賞年度	氏名	部 局
平成24年	浦 正 肇	経済学研究科	平成23年	朱 华	理学研究科	平成22年	王 謙	経済学研究科
	桂 沛 君	医学系研究科		浩 日 勲	医学系研究科		陳 桂 興	理学研究科
	陳 凱 幼	工学研究科		趙 曉 麗	工学研究科		胡 春 艶	医学系研究科
	劉 家 佳	情報科学研究科		温 磊	生命科学研究科		張 志 宇	工学研究科
	果 崇 申	環境科学研究科						
平成21年	王 秀 芳	文学研究科	平成20年	張 睿 睿	経済学研究科	平成19年	王 冷 然	法学研究科
	珠 欄 具 栢	医学系研究科		美 哈 申	理学研究科		劉 晨 光	理学研究科
	鳥 麟	工学研究科		松 保 珍	薬学研究科		陳 鑑	歯学研究科
	車 佳	国際文化研究科		張 宇	工学研究科		岳 新 艶	工学研究科
	王 紅 霞	生命科学研究科		王 弘	情報科学研究科		袁 媛	農学研究科
平成18年	覃 慧 玲	理学研究科	平成17年	薩 日 娜	文学研究科			
	杜 璋	医学系研究科		金 光 宇	経済学研究科			
	韓 峰	薬学研究科		代 紅 梅	医学系研究科			
	常 春 涛	工学研究科		俞 志 前	歯学研究科			
	侯 旭 濱	生命科学研究科		呂 晨	工学研究科			

学内表彰

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

本多光太郎記念賞

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成18年	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学校リヨン校学長
	ルノー財団		
	アルベール・ブレヴォ	フランス	国際教育学研究センター所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学校国際交流部長
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所教授
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官



本多記念館



本多記念室

東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition” をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

